

複雑性トラウマとその治療

*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期研修機会(ワークショップ)」の承認を受けております。 <承認期間:2017年7月1日~2022年6月30日 承認番号:W29111>

期 日:2019年7月6日(土)・7日(日)

受講対象:教育・医療・相談・福祉・保育の各機関・現場等で子どもにかかわる専門家の方々、並びに大学生・大学院生など本テーマに関心のある方

定 員:150名(定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください)

受講料:14,000円(税込み) ※昼食は各自おとりください

主 催:公益財団法人 明治安田こころの健康財団 TEL 03-3986-7021

会 場:明治安田生命名古屋ビル ホール ※詳細地図は受講証に添付いたします
名古屋市中区新栄町1-1 明治安田生命名古屋ビル 16階
(名古屋市営地下鉄東山線・名城線「栄駅」5番出口より徒歩1分)

講師陣ご紹介

*** ご企画/杉山 登志郎 先生:福井大学子どものこころの発達研究センター 客員教授 ***

(ご出講順) 友田 明美 先生:福井大学子どものこころの発達研究センター 発達支援研究部門 教授
浅井 咲子 先生:アートオブセラピー
堀田 洋 先生:医療法人陽和会南山病院
大江 美佐里 先生:久留米大学医学部神経精神医学講座 講師
伊藤 絵美 先生:洗足ストレスコーピング・サポートオフィス
淵野 俊二 先生:浜松市子どものこころの診療所

振り返ってみれば平成は発達障害の時代でした。新たな年号を迎え、時代の要請はトラウマに移り変わってきています。気がつけば子ども虐待の年間通告件数は、わが国の年間出生数の14パーセントを超えています。今や何処でも出会うようになって来ました。そんな中で、複雑性PTSDの診断基準がようやく国際的診断基準(ICD-11)に採用されました。

一方、治療に関しては未だに十分に行き渡っているとは言えません。本講座では、わが国においてもっとも先鋭的に複雑性PTSDに取り組んできた講師陣を迎え、その病理を解き明かし、治療実践の報告を行います。
【福井大学子どものこころの発達研究センター 客員教授 杉山 登志郎】

	日程	時間	テーマ	講師(敬称略)
プログラム	7月6日(土)	13:00~14:30	子どものこころと脳を守る	友田 明美
		14:40~15:40	発達性トラウマ障害と複雑性PTSD 概念とその治療	杉山 登志郎
		15:50~17:30	SE C-PTSD の治療実践	浅井 咲子
	7月7日(日)	9:00~10:20	C-PTSD の病理とその治療	堀田 洋
		10:30~11:50	C-PTSD へのCBT マインドを持った治療実践	大江 美佐里
12:50~14:10		スキーマ療法 C-PTSD への治療実践	伊藤 絵美	
	14:20~15:40	C-PTSD の親子へのトラウマセラピー	淵野 俊二	
	15:40~16:30	シンポジウム	全講師	

※時間割・テーマ等が変更となる場合があります。予めご了承ください。